

## 飯田市中学校部活動アンケート結果について

学校教育課

### 【1】はじめに

#### ■ 部活動の意義と現状

中学校の部活動は、生徒自らの意志で参加し、先輩や後輩、仲間との交流のなかで切磋琢磨したり、好ましい人間関係を築いたり、多様な学びの場として教育的意義の大きいものです。

しかし、活動時間の長時間化や、知識や経験が乏しい教職員が指導に当たらなければならない実態など、多くの課題が生じており、健全に継続することが困難な状況にあるのも事実です。部活動は中学校学習指導要領の総則に示されるように、教育課程外と位置付けられており、設置や運営について法令上の義務はありません。教職員の善意による献身的な活動によって成り立ってきたものが限界を迎えていることも現状です。

#### ■ 実態調査で浮き彫りになった課題

そこで、平成30年度に市内9校の中学校の部活動の実態調査を行いました。その結果、以下のような課題が浮き彫りになりました。

##### 課題① 長時間化する部活動

- ・年間平均活動時間が665時間（部活動と部活動の延長として行われている社会体育活動との合計時間）
- ・1000時間を超える部活動もあり（中学の総授業時間数 約850時間を超える活動時間）

##### 課題② 継続する「部活動の延長として行われている社会体育」

- ・長野県から廃止の通知(H26)以降も、すべての部活動で実施

##### 課題③ 運動部活動の加入率低下（運動ばなれ）

- ・全国より低い運動部活動の加入率（飯田市約59%/全国平均約65%）

##### 課題④ 専門的な知識・経験が少ない教師による指導

- ・競技経験がなく専門的な知識が乏しい中で指導の困難さを訴える教職員の声

##### 課題⑤ 生徒数減少に伴う部活動数の減少と競技・活動の選択肢の少なさ

- ・部活にない他のスポーツもやってみたいと願う生徒の声

長時間の部活動は  
けがのリスクや  
バーンアウト（燃え尽き）  
の危険性があります

#### ■ 課題解決に向けた取り組みと今後の方向性

飯田市教育委員会では、こうした課題をふまえ、より望ましい部活動の実現と生徒のバランスのとれた心身の成長のために、平成30年度より校長会、教頭会と連携をしながら見直しを進めてきました。令和元年度にはスポーツ協会と協力し、部活動以外にも多様なスポーツを選択できる「全市型競技別スポーツスクール」をスタートさせました。そして、生徒、保護者へのアンケート調査を踏まえ、令和2年3月に「飯田市中学校部活動の活動方針」を改定しました。

部活動の改善に向けては、生徒を含め様々な声や意見を聞いていきたいと考えています。今回のアンケート調査（令和3年3月実施）では、中学校の1、2年生全員とともに教職員を対象に実施しました。生徒、保護者のみなさまには、この結果をご覧いただき、ぜひ、感想やご意見をお寄せ下さい。飯田市の部活動が、すべての生徒にとってよりよい活動となるように、引き続き取り組んで参ります。よろしくお願いたします。

## 【2】 飯田市部活動の新しい活動方針と策定までの経緯

### ■ 平成30年度

- 4月～ 教育委員会、校長会、教頭会と共同した実態調査・課題研究

### ■ 令和元年度

- 4月 市内各中学校のPTA総会、部活動運営委員会等における懇談会（計20回）
- 6月 中学生期のスポーツ活動関係者会議の開催（以降8月まで計3回）
- 6、1月 教職員・スポーツ関係者対象の研修会（講師/徳島大学・荒木秀夫名誉教授）
- 1月 「放課後部活動オフ期間」（1ヶ月間）の実施
- 1月 「全市型競技別スポーツスクール」（1～3月）の開催
- 2月 市内中学校1、2年生、保護者へのアンケート調査の実施
- 3月 教育委員会定例会にて「飯田市中中学校部活動の活動方針」の改定

#### 「飯田市中中学校部活動の活動方針」（R2.3改定）における主な活動基準（抜粋）

##### 〔休養日の設定〕

- ① 学期中は、週あたり2日以上の休養日を設けます。

- 平日は、少なくとも1日の休養日を設けます。

- 土曜日及び日曜日（以下「週末」）は、少なくとも1日以上の休養日を設けます。

- ② 長期休業中は、休業期間の半分以上の休養日を設けます。また、生徒が十分な休養を取ることができるよう、活動はできるだけ平日に行うよう配慮します。

##### 〔適正な活動時間〕

- ① 平日の活動時間は長くとも2時間程度、各校が下校時の安全を考慮して季節ごとに定める完全下校時刻までとします。ただし、以下に示す期間においては、生徒や保護者に対して十分な説明をし、理解を得るとともに、下校時の安全にかかわる措置を講じたうえで、週2日以内において、校長の判断により放課後部活動を延長することができるものとします。なお、その場合も「長くとも2時間程度」の範囲内で活動します。

##### 〔放課後部活動の延長が認められる期間〕

- ア. 運動部活動においては、新人大会前4週間

- イ. 文化部活動においては、当該文化部の中心的な参加行事として位置付けられるコンクール・コンテスト・発表会等のうち、冬季（概ね11月～1月）に実施される行事、及びそれらの上に位置する行事の開催日前4週間

- ② 週末や学校の休業日の活動時間は長くとも3時間程度とし、原則として活動が午前、午後にわたらないようにします。

### ■ 令和2年度

- 9月 「飯田市中中学校部活動の活動指針（R2.3改定）」の施行
- 9月 「全市型競技別スポーツスクール」（9月～3月）の開催
- 11月～1月 「放課後部活動オフ期間」（約3ヶ月間）の実施
- 1、3月 教職員を対象とした研修の実施（講師/筑波大学・清水紀宏教授）
- 2～3月 市内中学校1、2年生、教職員へのアンケート調査の実施

### 【3】よく聞かれるご質問にお答えします

#### Q. なぜ、いま部活動を改革するのですか？

A. 平成 30 年に実態調査を行なったところ、生徒の一年間の活動時間は平均 665 時間、1000 時間を超える部活動もありました。学校の総授業時間数が約 850 時間であることを考えると、学習や家庭生活とのバランスがとれた状態ではありませんでした。そこで、スポーツ庁の「運動部活動の在り方に関するガイドライン」(H30. 3) や、長野県教育委員会の「中学生期のスポーツ活動指針」(H30. 2) に則りながら、すべての生徒にとって、より望ましい部活動となるように、活動時間を原則として完全下校時刻までとし見直を図ってきました。この結果、年間の部活動の総時間の上限は、およそ 410~430 時間時間となります。

#### Q. なぜ、「部活動の延長の社会体育」は廃止になったのですか？

A. 「部活動の延長の社会体育」とは、部活動と同様の活動が連続または近接して行われ、部活動と同じ部員、同じ指導者によって構成されるものです。その課題として、①部活動の加熱化の一因となり長時間に及ぶ活動が常態化する、②万が一の事故等の起こった場合の責任の所在が曖昧である、③任意の参加であっても参加せざるを得ない状況や雰囲気になる、といったことが指摘され、平成 26 年に長野県教育委員会より廃止する通知がありました。飯田市においてはすべての部活動で実施されている実態がありましたが、令和 2 年 9 月より廃止としました。

#### Q. なぜ、冬季に放課後の部活動を行わない期間（オフ期間）を設定したのですか？

A. 飯田市教育委員会では、部活動を“教育活動の一環”として位置付け、すべての生徒が保護者の送迎を前提とすることなく、学校の責任の下で活動できることが大切であると考えています。完全下校時刻が早まる冬季（概ね 11 月~1 月）は、放課後の部活動を行わない「オフ期間」となりますが、新人大会やコンクール、発表会等の前 4 週間は、週 2 日以内において、校長の判断により放課後の部活動を延長することができます。生徒のみなさんには、部活動とともに、家族と過ごす時間や家庭での学習、さらには自分の興味のあることに挑戦したり、リフレッシュをしたりする時間も大切にしてほしいと思います。

#### Q. 「飯田市中学校部活動の活動方針」は、今後は見直しを図られるのですか？

A. よりよい部活動となるように、今後も改善を図っていきます。今年度は中学校校長会が中心となる「部活動方針検討委員会」において、生徒、保護者、教職員、スポーツ団体等の意見を集約し改善案等を協議した上で、教育委員会において 8 月をめどに決定していく予定です。

### 【4】生徒、保護者のみなさまへ。

#### ご意見をお寄せください。

保護者のみなさまは、各学校の担任、部活動の顧問へご連絡ください。  
部活動方針検討委員会において集約し、今後の部活動改善のために生かしていきます。

自分とは違う意見にも、ぜひ耳を傾けて下さい。

部活動で大切にしたいことを伝え合い、  
お互いに認め合うことが大切です。

よりよい部活動になるように  
みんなで考えていきましょう。



## 【5】【生徒】アンケート結果

### 1 アンケート概要

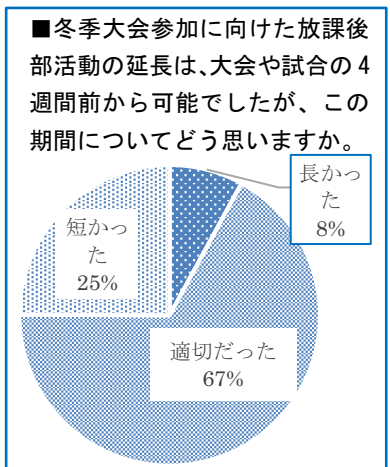
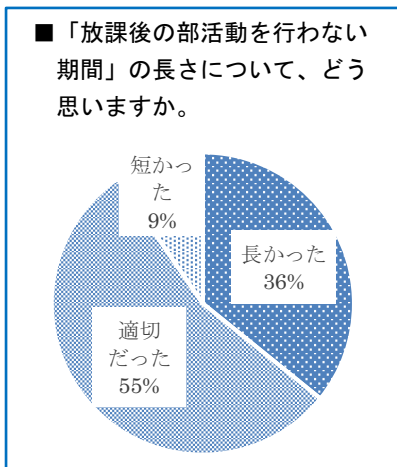
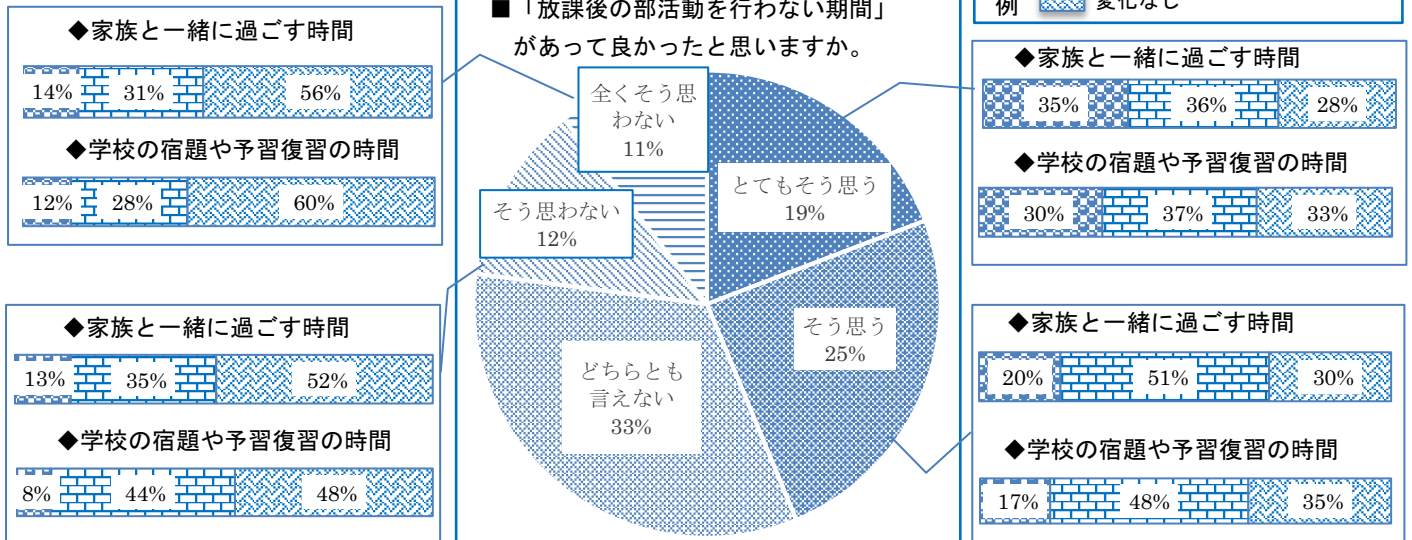
- (1) 対象／市内中学校1、2生全員を対象とし1,689名から回答
- (2) 期間／令和3年2月18日(木)～3月5日(木)

生徒の44%が  
オフ期間に肯定的でした

### 2 「放課後部活動オフ期間」の総合評価

帯グラフ  
凡例

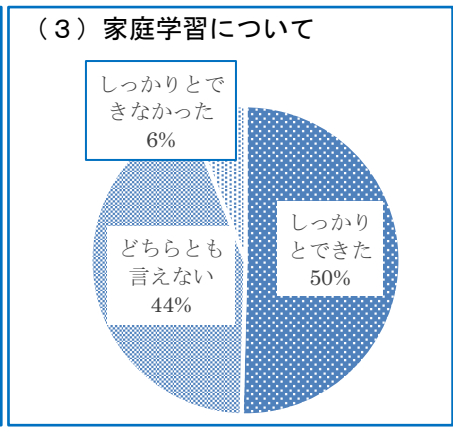
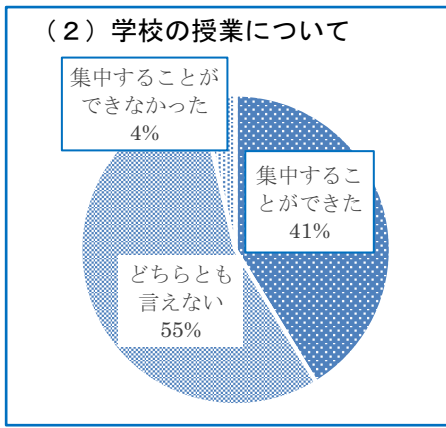
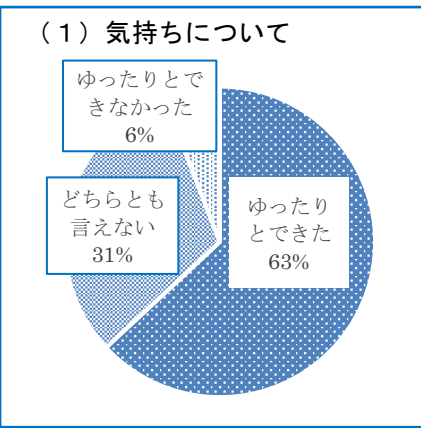
- オフ期間中の生活の変化
- とても増えた
- 少し増えた
- 変化なし

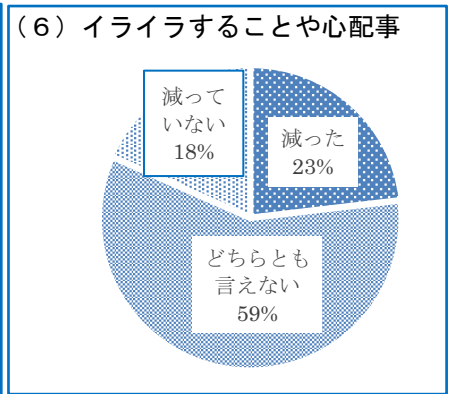
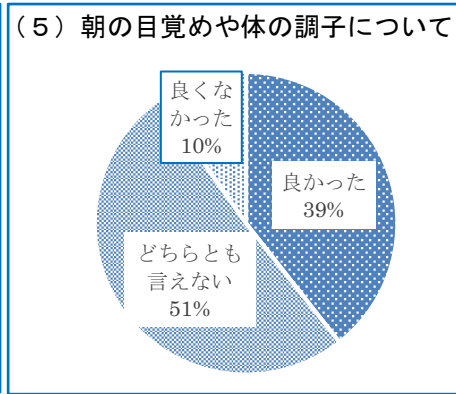
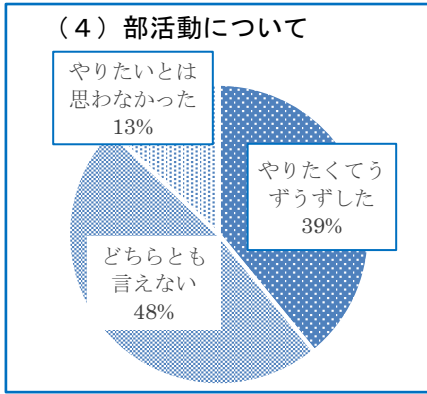


【どういう生徒が肯定的で、どうい生徒が否定的なのか】  
「放課後部活動を行わない期間にあなたの生活は変化しましたか」と「放課後部活動を行わない期間があって良かった」と思うかの質問をクロス集計した結果、「家族と一緒に過ごす時間」と「学校の宿題や予習復習の時間」に強い相関関係が表れた。「放課後の部活動を行わない期間」があって良かったかの質問に、「とてもそう思う」、「そう思う」と答えた生徒は、「家族と一緒に過ごす時間」や「学校での宿題や予習復習の時間」が、増えている傾向がある。

### 3 「放課後部活動オフ期間」の「行動・意識の変化」について

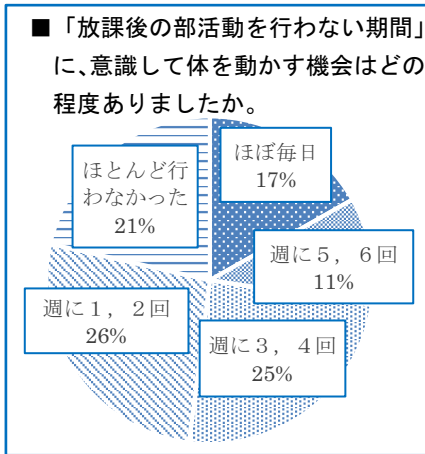
■ 「放課後の部活動を行わない期間」の様子を教えてください。



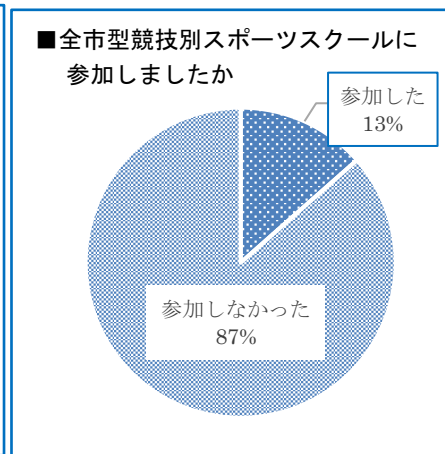


#### 4 「放課後部活動オフ期間」の「運動」について

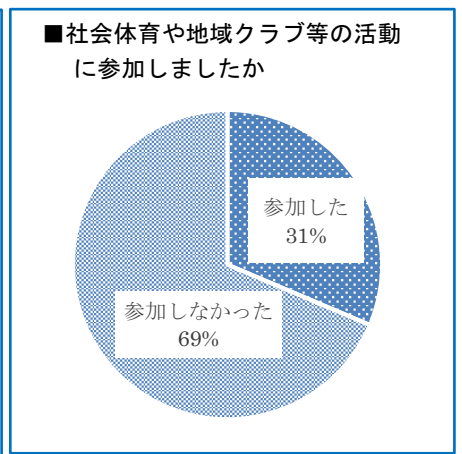
(1) 身体を動かした程度



(2) 全市型競技別スポーツスクール

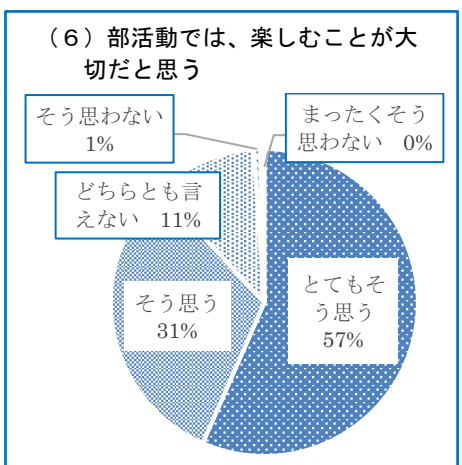
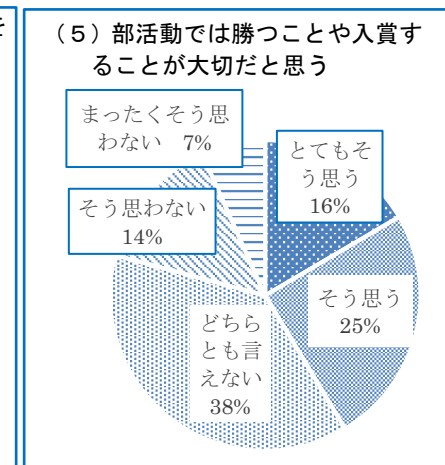
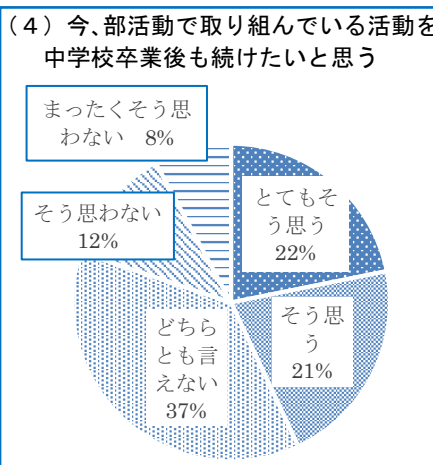
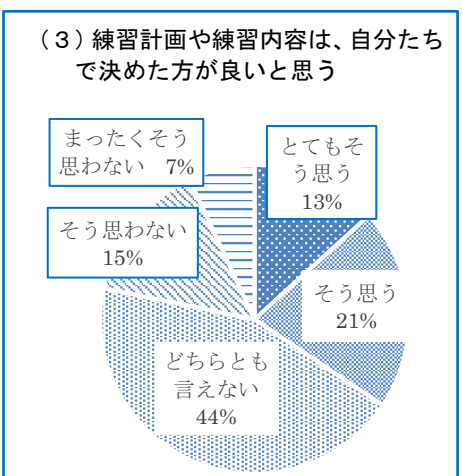
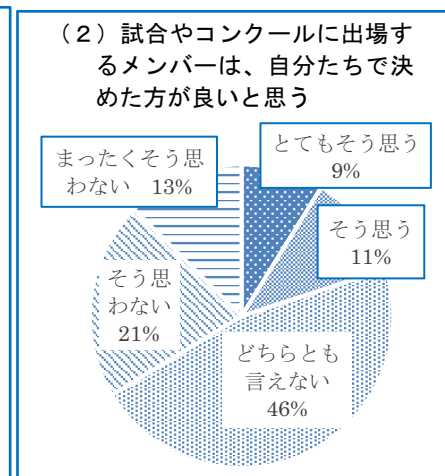
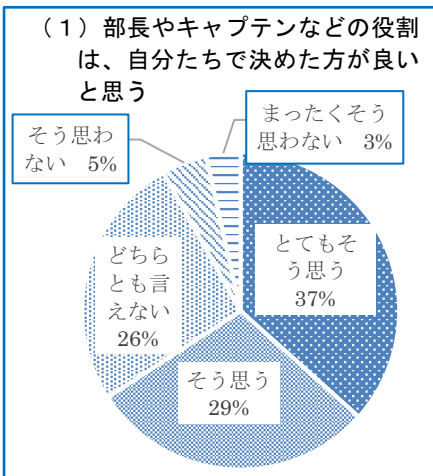


(3) 地域での社会体育



#### 5 「部活動に対する意識調査」について

■あなたが所属する部活動について、最もあてはまるものを1つ選択してください。



## 6 「意見・コメント」について（一部抜粋）

### （1）放課後部活動を行わない期間があって良かったと考えている意見

- ・休むことも練習と聞いたことがあるのでクラブとかもいいと思うがしっかり休日を作ることも大切だと思う。部活動がない期間も自分にとっては部活のことを見直すいいきっかけになった。
- ・自分の学校生活の在り方を改めて考える機会になりました。ありがとうございました。
- ・勉強をする時間が増えたから良かった。
- ・丁度いいくらいの休みだったと思います。適度に休みを入れてほしいです。
- ・部活動がなくなったり中止をしたらまえより、笑顔が増えて、みんなとも仲良くなれた。
- ・趣味の時間や勉強の時間が増えたり、好きなことをする時間が増えたので良いと思いました。
- ・部活の時間も大切だけど自分の時間・家族との時間も大切なんだと改めて実感できた。
- ・部活がない期間中に、勉強の時間が増えたり自分の趣味を見つけたりができた。
- ・家族とすごせる時間が増えてよかった。今後も続けてほしい。
- ・自分の時間が取れて自主練や、新しいことへの挑戦、リラックスする時間が増えた。
- ・たくさんの時間を集中して勉強ができました。日頃の疲れをこの期間中にとることができましたので、健康面でも安定していました。
- ・自主練習などの自分で考えて行うものを考えることができた。自主練習で自分のできること、できないことを明確に示すことができた。

### （2）部活動をもっとやりたいと考えている意見

- ・冬に部活動をさせてほしかった。そこで他校と差がついてしまうから
- ・放課後部活がなくなったこと ゆっくりできてよかったけど、部活の人と話す機会が少なくなってしまったことが少し残念だった。
- ・他のを体験するのも大事だけど自分が好きな部活に入ったから、部活はなくさずにやりたい人だけやればいいと思う。自分で体調管理ができるような講演会をすればある程度疲労は、取れると思う
- ・大切な部活の時間を減らされて、すごく悲しかった。部活の時間を返してほしいです。私達には時間が限られていて、一回一回の練習がすごく大事だから。
- ・なくなったことで新入部員との交流がほぼなく、顔合わせが1、2回あった程度なので、話しかけにくくなり、学年ごとに壁があるイメージになった。
- ・部活の時間は減ったのに、練習試合はあり、練習試合で得られるものが少なかった気がする。

### （3）部活動のあり方を考えて欲しいという意見

- ・正直、勉強などに集中したいし、部活に入っている人でも僕みたいに部活が嫌な人もいるので、部活をなくしたほうがいいと思います。それか部活をもっと減らしたほうがいいと思います。
- ・朝の自主練習や社会体育・音楽があったとき、部活動では強制的に参加するという雰囲気が漂っていた気がするのでそれらを私たちでも改善していきたいです。
- ・放課後の部活で帰りが5時半とかになってしまうと家につく時間がすごい遅くなってしまいうから、最低5時くらいにしてほしい。
- ・放課後の部活がない日はいいけど、朝の部活がない日もつくってほしいです。
- ・夏は部活動の時間が長く、宿題以外の自主学習があまり出来ないと思った。

### （4）全市型スポーツスクールに対する意見

- ・全市型競技別スポーツスクールは、行きたい気持ちもあったけど、学校の部活動と違い、距離があると親のおくり迎えが必須なので、行けなかった。そういったところを考えると部活のほうがいい。
- ・部活動の活動時間が少なくなっている中、全市型競技別スポーツスクールや社会体育があった方が少ない部活動の活動時間を補えると思うからあったほうがいいと思う。
- ・朝部活ができるようにしてほしい。全市型競技別スポーツスクールはやってほしい。たくさんのスポーツが体験できるし、好きなものと出会えるかもしれないから。練習試合をできるようにしてほしい。コロナで難しいかもしれないけど、実践はあったほうがいいから。
- ・全市型競技別スポーツスクールを令和3年度4月以降も続けてほしいです

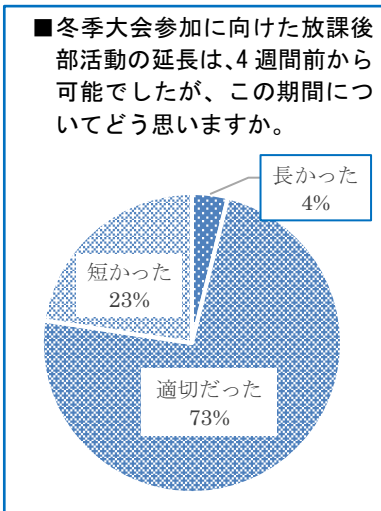
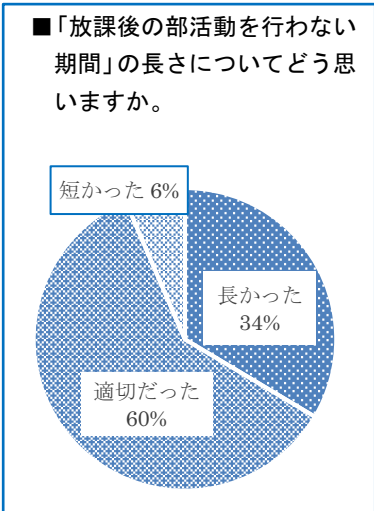
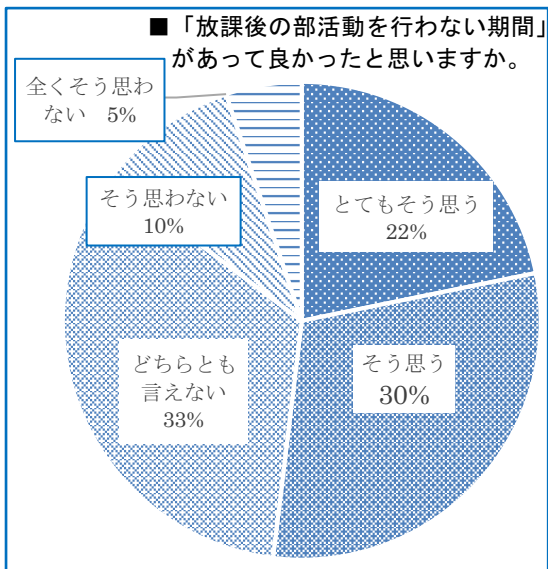
## 【6】【教職員】アンケート結果

### 1 アンケート概要

- (1) 対象／市内中学校の教職員を対象とし156名から回答
- (2) 期間／令和3年2月18日（木）～3月4日（木）

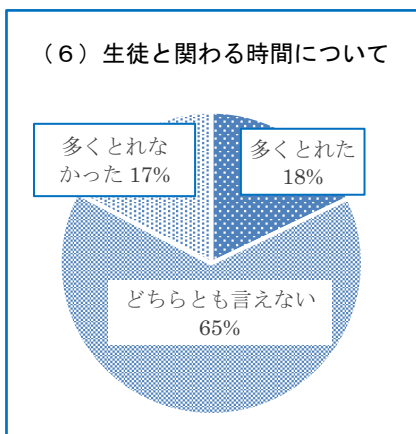
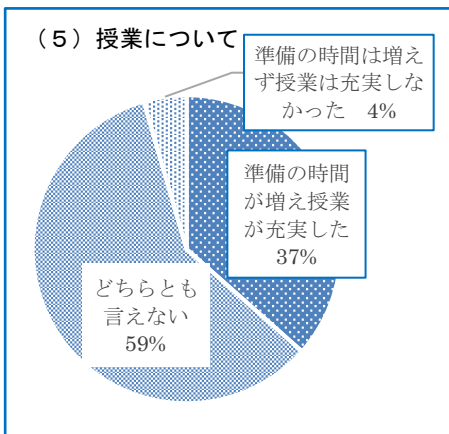
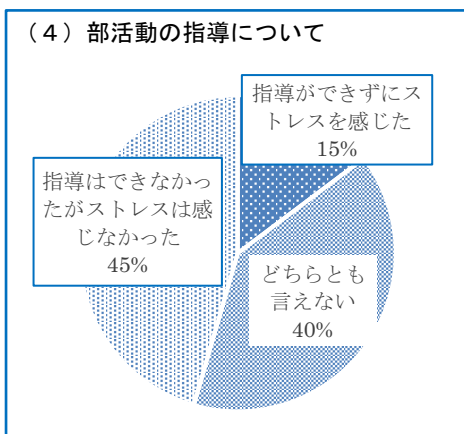
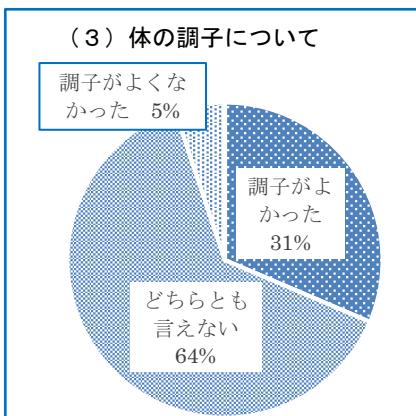
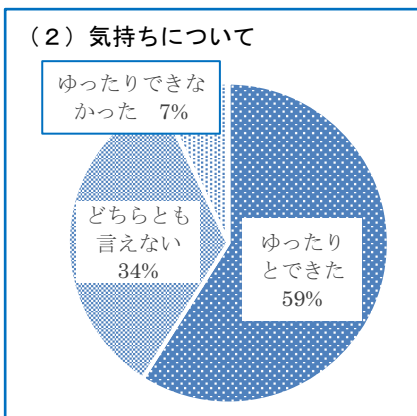
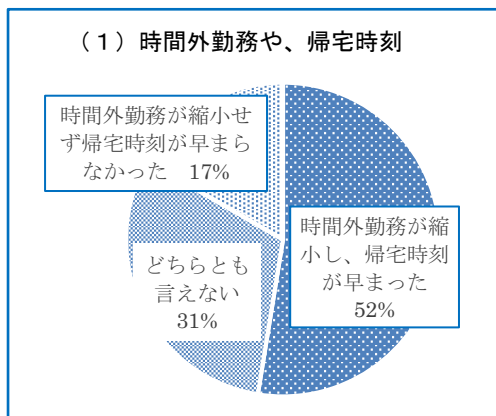
教職員の52%が  
オフ期間に肯定的でした

### 2 「放課後部活動オフ期間」の総合評価



### 3 「放課後部活動オフ期間」の「行動・意識の変化」について

■「放課後の部活動を行わない期間」に、ご自身に以下のような変化がありましたか。



#### 4 「意見・コメント」について（一部抜粋）

##### （1）この方針のまま進めてほしいと考える意見

- ・この期間はとても有意義だと感じる。運動しない期間（体を休める期間）があったほうが競技のレベルも上がることもある。体と心のバランスも含め、特に成長期である中学生のより良い生活を今後も大切にして欲しい。
- ・部活をしたいという生徒は他に自分の興味関心を広められないことでそのスポーツのみに偏ってしまっているように感じる。時間のほとんどを部活に使っていることがどれほど将来に影響してくるかを考えた方がいい。
- ・勉強ができた、体を休めることができた、お手伝いが出来た等、自分の時間を過ごす生活日記が多かった。
- ・一部の生徒は休日部活等の疲れで居眠りをする傾向があったが、それがなくなり、授業に集中できていた。
- ・飯田市の方向でよい。生徒の体と心の健康が第一。次に指導者である職員の心と体が大事。
- ・日暮が早い期間に完全下校時刻が守られることで、生徒が明るいうちに帰宅ができ、安全のためにもよい。
- ・部活動は、もっと生徒の主体性に任せるべき。地域のクラブチームや団体を充実させながら、学校は本来の業務に十分な時間と労力を割けるようにする。生徒の多様な経験を保障すべきである。
- ・学校という組織の中で部活動を行うことは無理が多い。やるのであれば、教師の勤務時間内で行うべき。
- ・「子どもの部活時間を奪うな」と声高らかに言う教員がいるが、それなら地域のクラブチームをつくれればいい。専門部活を指導する先生は、全く知らない部活を持ってほしい。来年度も部活動改革を先導して行ってほしい。
- ・これからの部活動の在り方を考えると、教員にとっても生徒にとってもよかった。数年後の生徒は当たり前のようになり、今の体勢に納得がいくと思う。
- ・飯田市から出された方針を貫いてほしい。例外や、今年度の限ってというのが多い。これではどの学校も足並みをそろえて行っていくのは不可能。

##### （2）方針の改善や見直してほしいと考える意見

- ・その種目や活動を好きだと思って部活動に入っている生徒が活動を行えないようにするのは、頑張ろうと思っている生徒のためにはならないのではないだろうか。
- ・飯田市は他の地区に比べても活動時間が少ないです。特に、延長部活が大会前しか認められていないことによる冬場の練習時間の短さは問題だと感じる。
- ・生徒や保護者にまだ趣旨が100%伝わっていないように思う。それでわたしたち教員に不満をぶつけられても、私たちにはどうすることもできず、私たちも困る。
- ・5月からは引退をかけた大会が始まり、生徒たちはこの大会で勝つことを目標にしている。その中で1年のうち3分の1も放課後活動を行えない状態で部活動をして機能できているのかと本気で思う。
- ・部活動を今後どうもっていくかはわからないが、「学習」は知識だけでなく、体や心で学ぶ部分があるということ。部活がなくなれば、今後一層体験不足、経験不足の生徒が出てくることを考えてほしい。

##### （3）全市型競技別スポーツスクールに関する意見、及びその他の意見

###### ○全市型競技別スポーツスクールに関する意見

- ・全市型スポーツはとても良い取り組みだと思う。ただ地理的に遠い生徒が置いていかれている感じを受ける。
- ・部活動を行わない期間に、それを埋め合わせるに足る全市型スポーツスクールの整備をお願いしたいです。
- ・地域の中学生在が練習できる団体の立ち上げを一刻も早くお願いしたい。運動だけでなく、吹奏楽の経験者が地域にいる中で、冬期間アンサンブルコンテストが終了した後の練習が、持続的にできる環境を創出したいです。

###### ○他地区と同じ歩調で進めて欲しいと考える意見

- ・飯田市下伊那で足並みがそろっているのかどうか、異動した場合に、飯田市と下伊那でちがっていたら残念に思います。ぜひ、飯田下伊那で足並みをそろえていただきたい。
- ・近隣の市町村と足並みがそろわなくなると、練習時間の差が生じてしまい、大会結果にもつながってくる場合があるので、そのあたりを考えていかなければならないと思う。

###### ○その他の意見

- ・今後、この動きがどうなっていくのか知りたい。練習を行わない期間をデメリットに思っている生徒や家庭について、丁寧な説明をしていかないと、「学校ではやってくれない」という不満につながると思う。
- ・勤務時間外の部活動指導を校長が命令せざるを得ない状況を、批判があってもきちんと説明し是正して欲しい。
- ・夏に意見交換の場を設けていただいたが、今後とも、学校・保護者・市を交えての場が必要だと思う。
- ・これからもこのような調査を丁寧に行い、生徒と教員の実態に即した活動の基準を作っていただきたいです。